

仙台市地下鉄南北線、 東北新幹線開業がもたらす新生活



昭和57年の東北新幹線大宮—盛岡間開業と昭和62年の仙台市地下鉄南北線の開業が
県民生活を大きく変えました。笹谷トンネルや仙台西道路の開通など、
現在でも毎日の生活に欠かすことのできない重要な社会基盤の整備が進みました。

[昭和③] 昭和55年—64年
(1980) (1989)

昭和			平成			令和
①	②	③	①	②	③	

笹谷トンネル開通 昭和56年(1981)

仙台と山形とを結ぶ笹谷街道が冬期に自動車通行不能となるため、建設省により宮城と山形の両県側から工事が進められたトンネルです。難工事を経て昭和56年4月から供用開始されました。



東北新幹線 大宮—盛岡間開業 昭和57年(1982)

東北新幹線の宮城—盛岡間465.6キロが開業しました。上野駅と盛岡駅は、大宮以南の在来線接続を加えても約4時間で結ばれ、それまでの特急より2時間以上も所要時間を短縮しました。



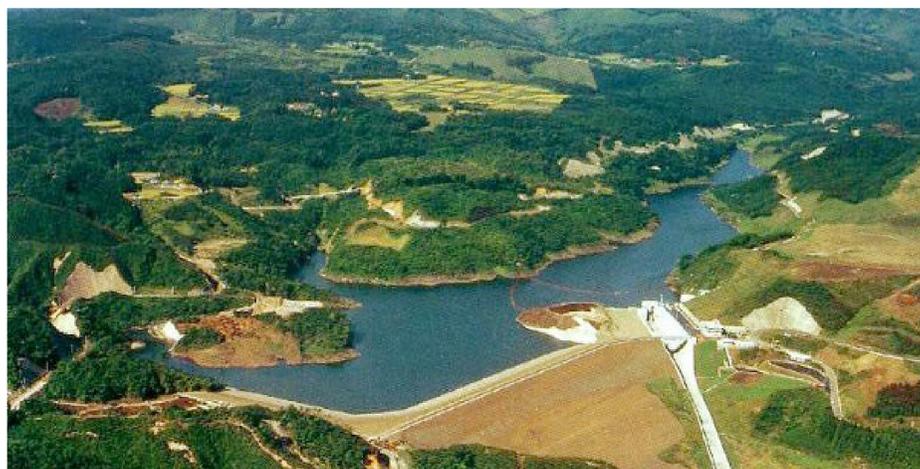
[昭和③] 昭和55年—64年

昭和56年	3月	漆沢ダム完成
56年	4月	笹谷トンネル開通
57年	6月	東北新幹線 大宮—盛岡間開業
58年	5月	仙台西道路開通
59年	10月	七北田ダム完成
61年	8月	昭和61年台風10号水害 (8.5豪雨)
62年	7月	仙台市地下鉄 南北線開業
63年	3月	南川ダム完成
63年	7月	仙台川河川トンネル完成
64年	1月	昭和から平成に改元



仙台西道路開通 昭和58年(1983)

国道48号の交通混雑緩和と仙台宮城ICの供用に伴う交通需要の拡大に対処するため計画された都市内トンネル事業で、昭和58年に暫定2車線で供用開始し、昭和62年に4車化が完了しました。



七北田ダム完成 昭和59年(1984)

沿川地域は度重なる洪水に見まわれる一方、少雨による渇水も頻発したことから、治水安全度の向上、灌漑、上水道などを行う多目的ダムとして計画された、中央コア型ロックフィルダムです。

昭和61年台風10号水害(8.5豪雨) (1986)

連続降雨量402mm(仙台)という約200年に一度の確率で発生したこの災害は、破堤7河川11箇所など甚大な被害をもたらした公共土木施設の被害は3,452件、約221億円に上りました。



仙台市地下鉄 南北線開業 昭和62年(1987)

都市化の進展による新たな交通需要に対応するため、八乙女～富沢間13.6kmの東北初の地下鉄として開業しました。



仙台川河川トンネル完成 昭和63年(1988)

梅田川から仙台川に水を分けるために1988年に作られた放水路。青葉区あけぼの町から通じる長さ405mのトンネルで、梅田川の増水時に洪水を仙台川経由で七北田川に流すものです。



南川ダム完成 昭和63年(1988)

吉田川流域の洪水調節・農業用水・上水道用水等を目的として整備されたダムです。ダム湖周辺には公園等が整備され、多くの人々の憩いの場として親しまれています。